



## ごあいさつ



代表理事組合長  
山内 清久

平素は、JAめぐみの各事業に格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

農業を取り巻く環境は、世界的な異常気象や高齢化による農業者の担い手不足、耕作放棄地の増加の影響を受け、益々厳しい状況になっています。また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う世界経済の萎縮による景気減速も今後の大きな懸念材料となっています。

農政面では令和元年9月、農水省が農協改革の進捗状況を公表し、JAグループの自己改革は進展していると一定の評価をしたものの、農業者の所得向上に向けた取り組みの継続・強化に加え、地域農業を支える農協経営の持続性の確保が課題との認識を示しました。

こうした環境の中、令和元年度は、第16回通常総代会で承認された3ヶ年計画の初年度として、「協同の力で農業と地域を未来につなぐ」の基本方針のもと「農業所得増大の実現」「協同による持続可能な農と暮らし・環境の確保」「総合事業機能発揮による経営基盤の確立」を3本の柱として取り組みを進めてまいりました。

「農業所得増大の実現」では、引き続き、担い手経営体への総合事業による経営支援や無料職業紹介事業の展開、トータル生産コストの低減として早期事前予約共同購入運動の実施や園芸資材の一元仕入などを行いました。

「協同による持続可能な農と暮らし・環境の確保」では、支店感謝デーの実施や、地域貢献活動として食農教育を通じた親子農業体験や食育セミナーなどを開催しました。

「総合事業機能発揮による経営基盤の確立」に於いては、総合事業による部門間の連携を強化するとともに、JAの総合事業のご理解と更なるご利用を推進するべく総合パンフレットを作成し組合員訪問活動で配付させていただきました。

令和2年度も農業振興と地域に貢献する取り組みを、役職員ワンチームで展開して参ります。

おわりに、組合員・地域の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

令和2年7月